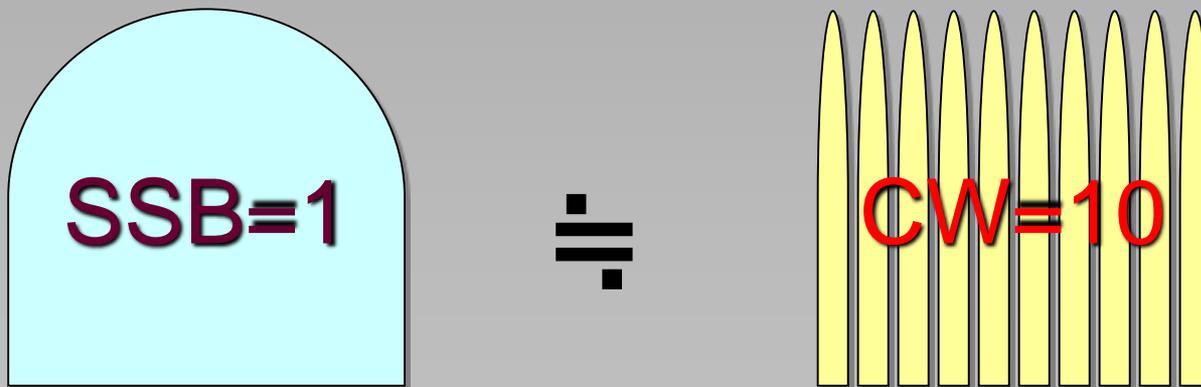


How smart CW is!
なぜCWなのか・・・10の理由

1. High Bandwidth Efficiency

- **CWは周波数効率が優れている**

SSBで2500Hz以上必要なところ CWでは250Hz以下で十分。わかりやすく言うとSSB1 QSOで占有する周波数帯域で10以上のCW QSOができる。PC(コンピューター)を必要としないモードとしてはこれ以上のモードはない。



●参考文献: <http://www.qsl.net/zs1an/morse.htm>

●(注)各モードにはそれぞれにメリット・デメリットがあります。上記比較は純粋に技術的見地から2つのモードを比較した時にCWが特に優れている点のみを抽出したものであり、決してSSBを批判する目的のものではありません。

2. Superior Readability under Poor Signal Conditions

- **CWは電力効率が優れている**

伝播状態の良くないHFにおいて同じ了解度を得るために必要S/N差はCWを0dBとすればSSBは13dB(電力比20倍)。つまり50WのCWと同じ了解度を得るために必要なSSBの電力は1000W！ PC(コンピューター)を必要としないモードとしてはこれ以上のモードはない。



●参考文献：<http://www.qsl.net/zs1an/morse.htm>

●(注)各モードにはそれぞれにメリット・デメリットがあります。上記比較は純粋に技術的見地から2つのモードを比較した時にCWが特に優れている点のみを抽出したものであり、決してSSBを批判する目的のものではありません。

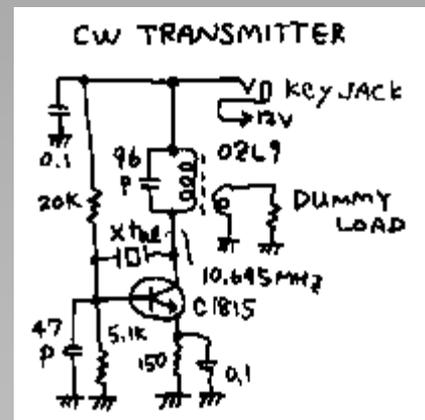
3. Pure mode

- 純粋なキャリアーの断続(On/Off)が全て
 - 短点と長点とスペースの組み合わせのみで全てを表現
 - デジタル通信の原点
 - PC(コンピュータ)不要

A → ·—
B → —···
C → —·—·
:

4. Simple mode

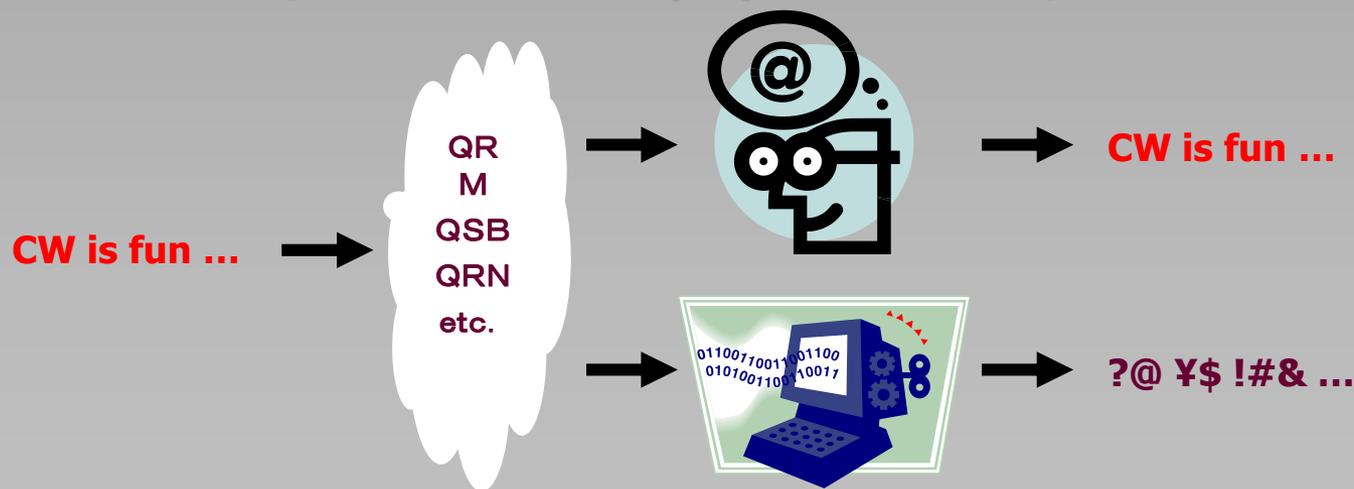
- 簡単な回路構成で実現できる
 - 変調回路が不要故、回路構成が簡素化できる
 - 自作が容易



1TR TX by JF10ZL

5. Intelligent mode

- 送受信そのものにオペレータの技能が問われる、五感を駆使する知的な電波形式
 - 電離層反射を繰り返し混信や歪みを伴ったノイズすれすれのかすかな信号を解読できるのは人間のみ。
 - 運用者の技能が問われるだけに奥が深く、技能を極めれば極めるほどに終わりが無い。



6. Wide & Fun mode

- 初心者からベテランまで楽しみ方いろいろ
 - 599BKだけの超簡単QSO
 - 定型文で済ませるラバースタンプQSO
 - ハイテンポなコンテスト運用
 - 呼ばれる側になれる移動運用
 - QRPpの限界に挑戦する
 - 国内局同士の和文ラグチュー
 - 外国局との欧文ラグチュー
 - リグ、周辺機器の自作
 - 電鍵・パドル収集なども



7. Gentle mode

- **声を出す必要がない**
 - 静かに運用できる(真夜中、赤ん坊がいてもOK)
 - 運用中に食事もできる(コンテスト中など)
 - ハンディキャップを克服(言葉が不自由でもOK)
- **環境にやさしい**
 - 小規模設備(省電力、省スペース)でOK
 - 運用時の騒音問題なし
 - 言葉のハンディキャップを克服



8. Gender Free mode

- 老若男女の区別がつかない
 - 性別や年齢がわからない
 - 性別・年齢を意識しなくて済む
 - みんな対等にコミュニケーション



10. Maniac mode

- マニアックな魅力
 - 符号自体一般人には暗号のようなもの
 - さらにQ符号や略号でメッセージを簡素化
 - やったものだけがわかる自己満足の世界

